

ブロック1 (2期)

課題 No.7

耳寄りな話

解剖学教室
佐々木 宏・川島友和



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

5月になるとこのところきまって、冬眠からさめた蛙が我が家の庭先に姿を見せる。

母「今年もまたどうぞよろしくといわんばかりに蛙が姿を現したわよ。」

娘「お互いの無事が確認できてよかったね。」

母は娘が大学で解剖学を学んでいることに気づき、「ところで、蛙には人間のようなくびがあるのかしら？」

娘「頭がいきなり胴につながっているように見えるわ。」

母「それに目玉の後ろにある、あの円板のようなものは何かしら？」

抽出を期待する学習項目

頭, くび, 胴

→ A) 1, 2 脊椎動物の基本体制, 骨格系

蛙, 人間

→ A) 3 相同 (比較解剖), 系統発生

シート 2

娘は大学図書館で、眼の後ろにある円板状のものが鼓膜であることを、さらに蛙の耳小骨がひとつであることも知った。

抽出を期待する学習項目

鼓膜、耳小骨（ひとつ）

- A) 4 ヒトの聴覚系の構造・機能
- B) 1, 2 鰓弓器官、分節構造
- できれば C) 2 遺伝情報と表現型との関係

シート3

その夜、娘は机に向かって、「蛙は両生類の仲間だし、蛙が地球上に生き残っているってことは、どんな適応力があつたのかしら？」と一人考えにふけた。

検定シート

抽出を期待する学習項目

両生類、生存、適応力

→ A) 1, 3

→ C) 1 進化論

出題期間3人型